

認知症の人と家族を支える地域づくりの現況調査 集計結果(速報)

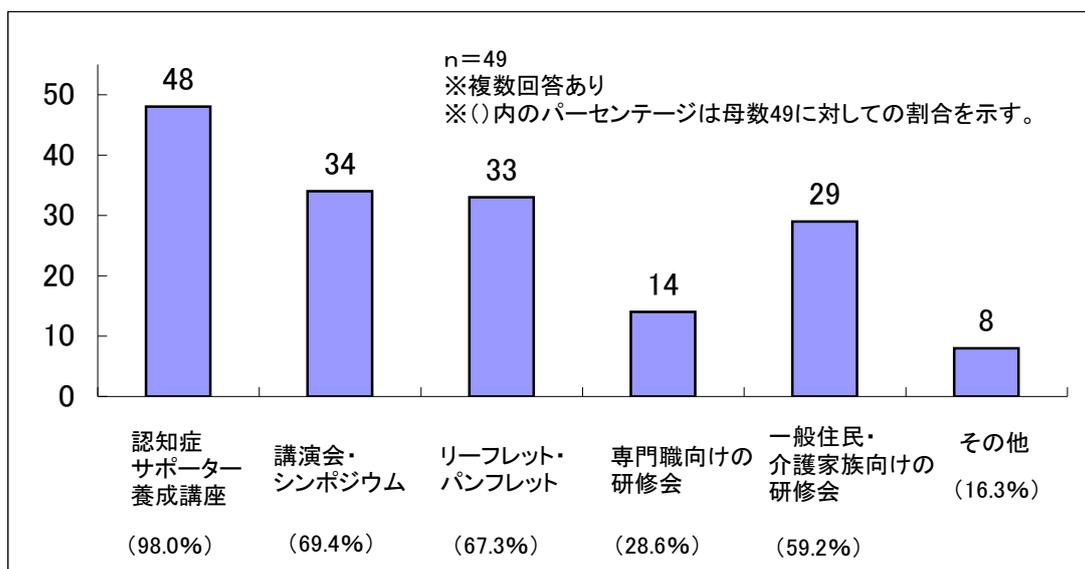
【調査実施期間】 平成24年6月25日～平成24年7月9日

【調査票送付先】 62区市町村

【今回集計対象数】 49区市町村(島しょをのぞく)

◆ 普及啓発について

Q1 認知症の普及啓発について、どのような事業を実施していますか？(複数回答可)



Q2 Q1の普及啓発事業について、具体的内容や工夫していることをご記入ください。

(主な回答を抜粋)

- ・ 認知症サポーター養成講座の受講生を対象に、フォローアップの機会を設けている。
- ・ 認知症サポーター養成講座について、商工会・企業や小中学校へのPRを実施している。
- ・ 認知症サポーター養成講座を悉皆研修として位置付け、職員向けに開催している。
- ・ 市が独自に認知症サポーター養成講座の終了証を発行し、店舗等に掲示してもらっている。
- ・ 市内の介護保険事業者や市民が、認知症の問題を地域の問題としてとらえ、どのような事が出来るか話し合いの場を設け、具体的な事業としていく(認知症アクションミーティング)。
- ・ 「認知症を知る月間」を定め、展示会等のキャンペーンや講演会を開催している。
- ・ 認知症予防キャンペーンの月を定め、講演会やウォーキングイベントを開催している。

◆ 地域住民や専門職による地域活動について

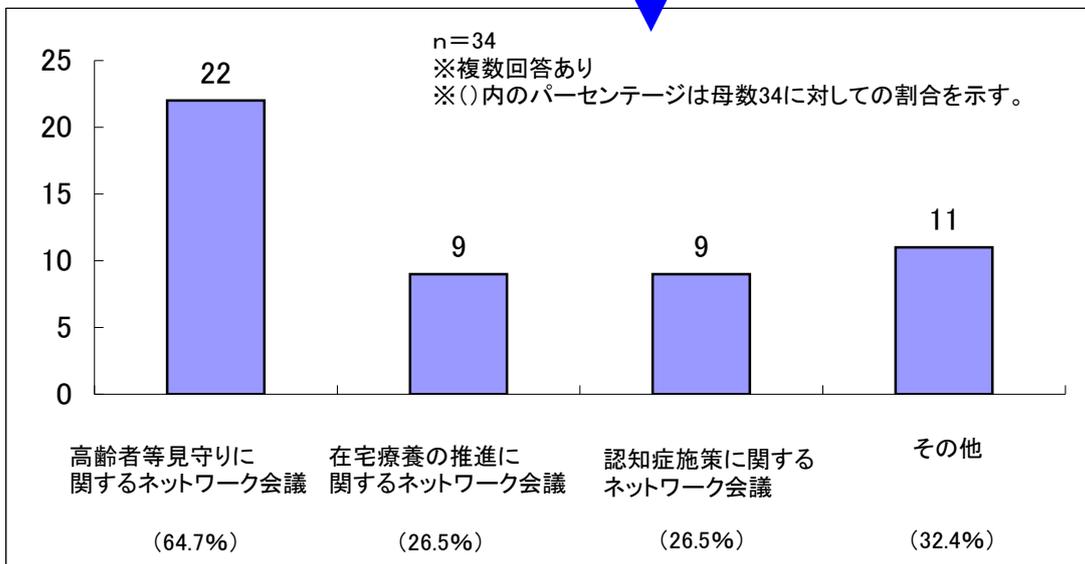
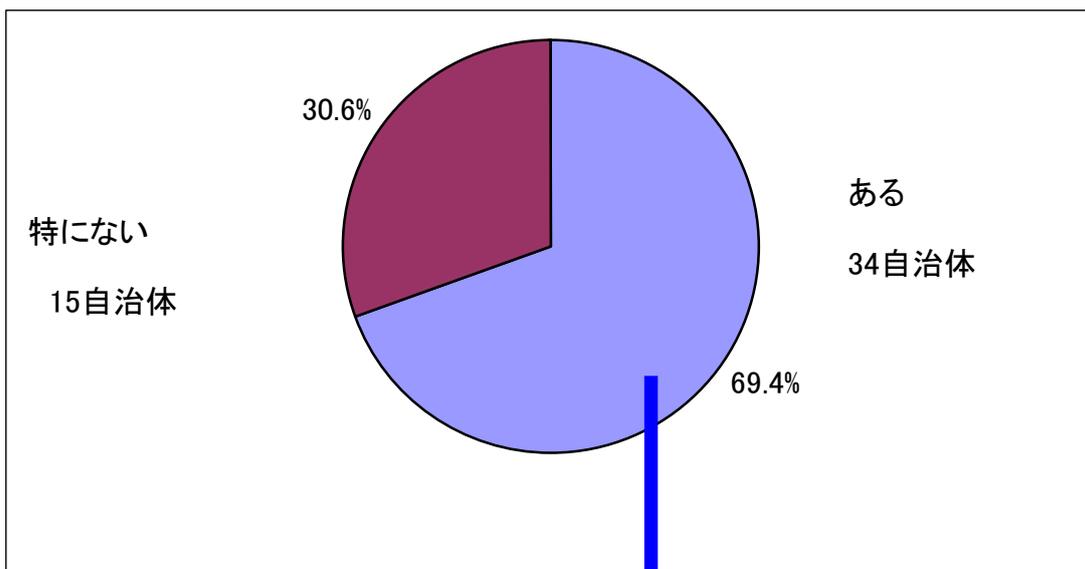
Q3 地域の住民や専門職による、認知症の人や家族を対象とした地域活動(例:サロンの運営、サークル活動、認知症サポーター養成講座の開催など)について、貴区市町村で把握している内容・メンバー等について、ご記入ください。

(主な回答を抜粋)

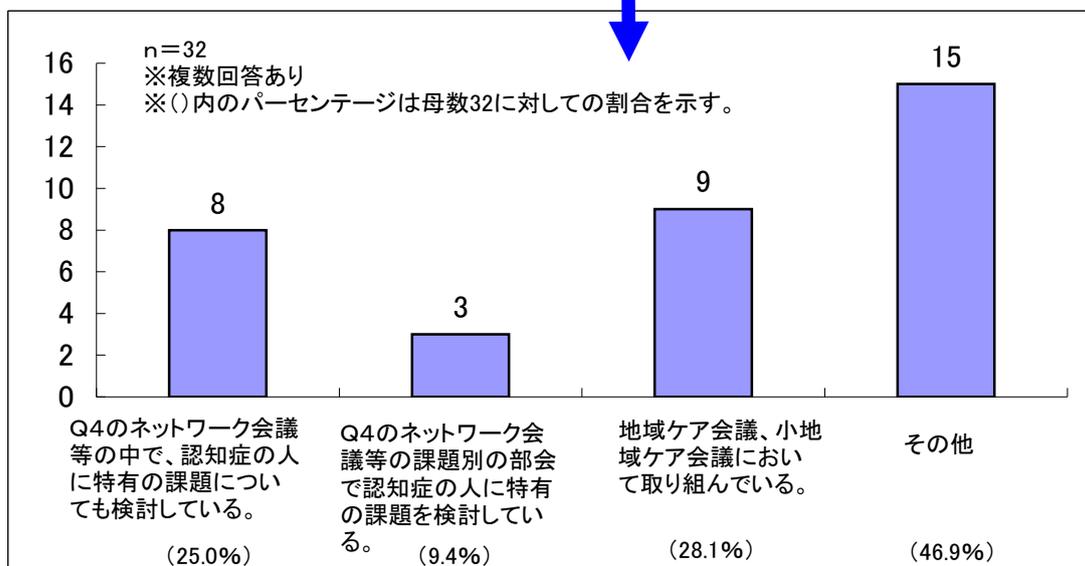
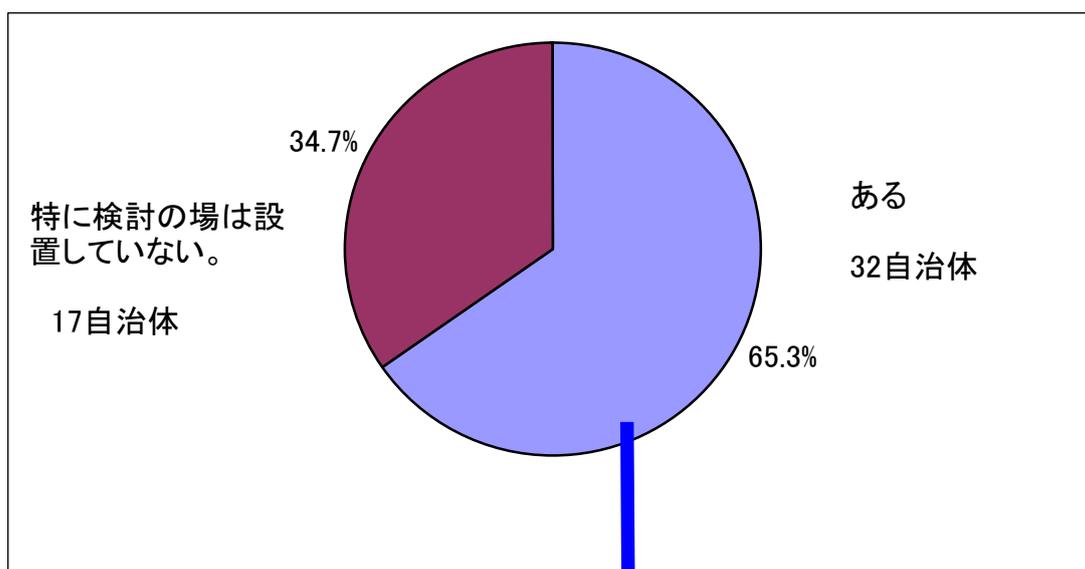
・ 家族・介護者支援	28件	…うち15件で自治体からの支援があった。
・ サロン活動	8件	…うち6件で自治体からの支援があった。
・ 認知症サポーター養成講座	7件	…うち6件で自治体からの支援があった。
・ 見守り活動	2件	…うち2件で自治体からの支援があった。

◆ 地域支援の取組を支援するネットワーク会議について

Q4 地域の関係機関や専門職が参加し、地域の気がかりな人(認知症の人を含む)を見守る地域づくりに向けて、地域の特性に応じたビジョンの設定や課題の抽出を行うネットワーク会議等がありますか？



Q5 Q4で挙げたネットワーク会議等を含めて、認知症の人に対応する地域づくりに関する課題を抽出して、整理・検討する場はありますか？



Q6 認知症対策に関する課題を整理・検討する場となるネットワーク会議の構成員はどのようなメンバーですか？(複数回答)

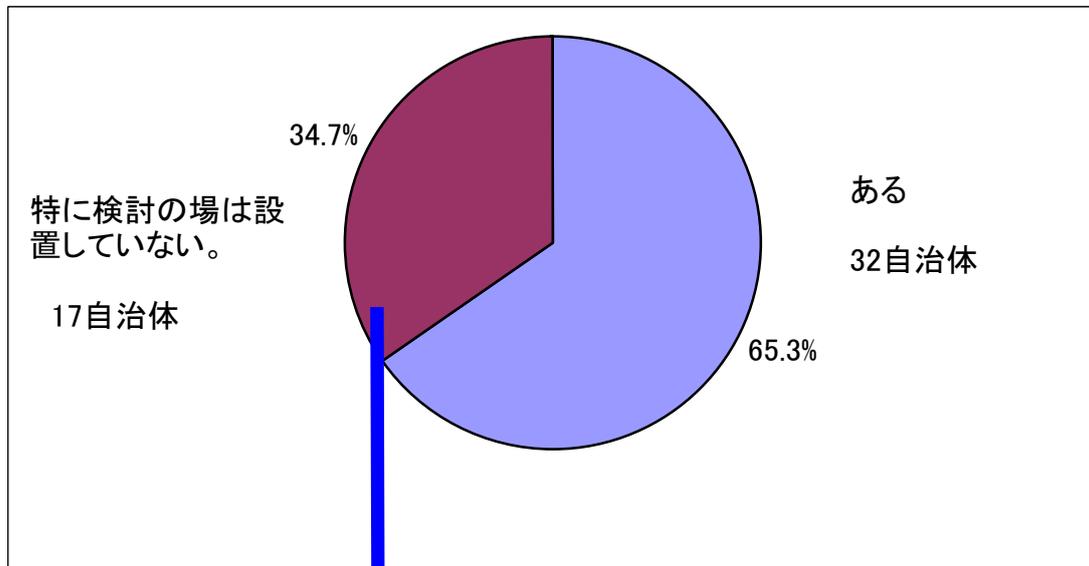
- ・ 医療分野(地区医師会等)が構成員として参加している → 17/32自治体
- ・ 介護分野(介護事業者等)が構成員として参加している会議 → 20/32自治体
- ・ 地域住民が構成員として参加している会議 → 15/32自治体
- ・ 民生委員が構成員として参加している会議 → 17/32自治体
- ・ 社会福祉協議会が構成員として参加している会議 → 13/32自治体

Q7 認知症の人に特有の課題として検討している内容はどのようなものですか？(複数回答)

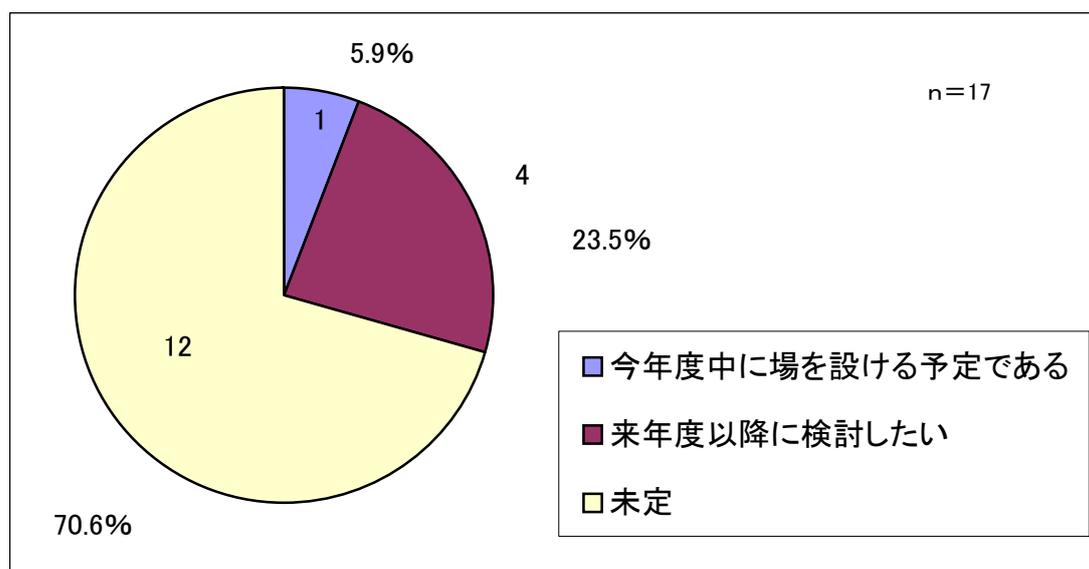
- ・ 医療と介護の連携 → 8/32自治体
- ・ 家族・介護者への支援 → 6/32自治体
- ・ 徘徊対策・見守り活動 → 5/32自治体
- ・ 認知症の理解の推進・普及啓発活動 → 4/32自治体
- ・ 早期発見・早期対応 → 4/32自治体

再掲

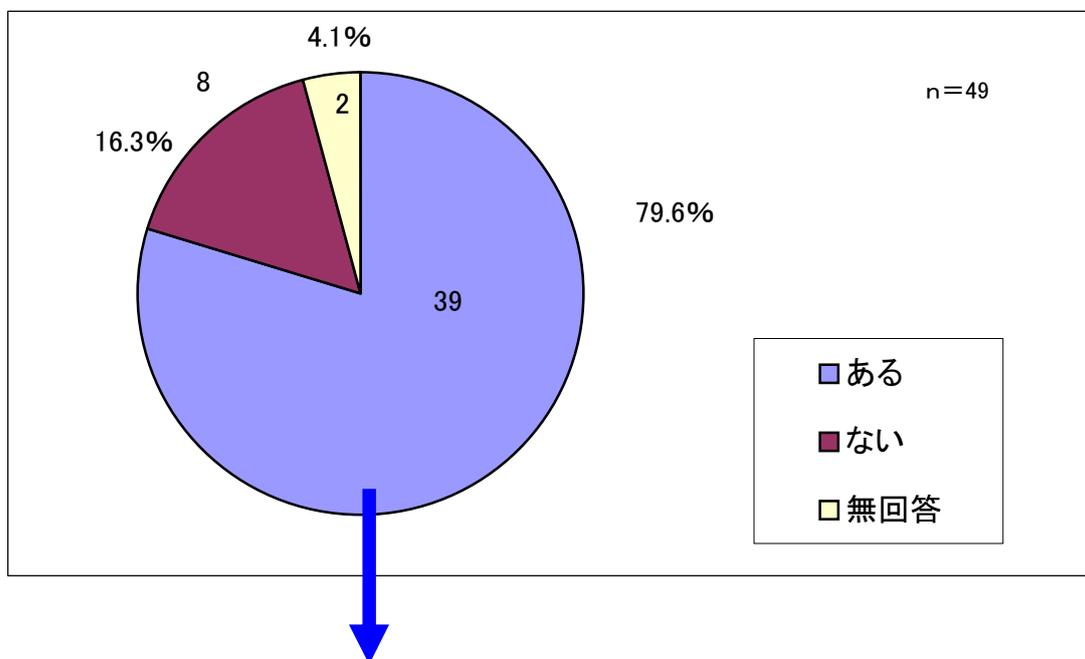
Q5 Q4で挙げたネットワーク会議等を含めて、認知症の人に対応する地域づくりに関する課題を抽出して、整理・検討する場はありますか？



Q8 Q5で「特に検討の場は設置していない」と回答した区市町村にお伺いします。これから認知症施策に関する課題を検討する場を設けますか？



Q9 認知症の人を地域で「面的」に支援するための課題として、認識している課題はありますか？(未検討のものを含む)



(抜粋)

- ・ 認知症の理解の推進・普及啓発活動 → 10/39自治体
- ・ 医療と介護の連携 → 10/39自治体
- ・ 家族・介護者への支援 → 5/39自治体
- ・ 見守りネットワーク・見守りシステムの構築 → 5/39自治体
- ・ 認知症サポーター養成講座受講者の活躍の場を広げていくこと → 5/39自治体